

## JIMA:一般社団法人日本輸入モーターサイクル協会 の設立にあたって

業界の活性化とは何か・・・という事を考えた時に、先ず必要なのは何でしょう？

80年代、空前のブームと呼ばれたモーターサイクル業界は21世紀に入り成熟期を迎えました。大型免許の教習開始、高速道路の二人乗り解禁、ETCの普及など嬉しい要素も続々と出ました。

その一方で排ガス・騒音などの環境基準は年を追う毎に厳しくなり、また駐車違反取締りの強化など、私たちににとってはあまり有難くないものもあります。

しかし、厳しい規制に真正面から向き合いモーターサイクルに乗らない人達の生活を守っていく事も、広く世間に対しモーターサイクルを利用する正当性や利便性、交通手段やホビーとしてのモータースポーツの素晴らしさをアピールする為の“絶好のチャンス”ではないでしょうか？

あまりにも少なすぎる駐車場の問題だけでなく、モーターサイクルの“健全な定着”を実現するためには、関係諸団体や国そして自治体とも太い連携のパイプを維持して、モーターサイクルのインフラ整備と平行した地域活性化のお手伝いにも深く貢献して行かなくてはなりません。

また、私たちはユーザーの“安心・安全・良質・便利”を高次元で“楽しさ”と共に確保して行く一方で、健全なモーターサイクルユーザーの育成や啓蒙活動に寄与して行く事も、軽視できない事業のひとつです。

素晴らしくも厳しい四季があり狭い国土ではありながら、沿岸部や山間・丘陵地といった大自然の隅々まで発展した道路網を持つ日本はモーターサイクルに対し様々な性能を要求します。

また、生真面目で平均的に見識の高い国民性を持つ日本人モーターサイクルユーザーから得られる様々なインプレッションは、それを製作するメーカーにとって大変貴重で有意義な開発ヒントが得られると思います。つまり、海外のメーカーにとって日本人ライダーが日本国内でモーターサイクルを利用するという事は相当な価値があるという事でしょう。

そして私たちは Country Quality と Brand Quality を踏まえながら、世界の国々の文化をモーターサイクルという媒体を介して(日本の厳しい環境基準やルールを満たしながら)正しく日本に伝える為にも、私たちは持つ知識と結束力で貢献していかなければなりません。

JIMA(日本輸入モーターサイクル協会)は、上記のような様々なことに関して、小型二輪・軽二輪・原付一種二種、といったサイズ、オンロード・オフロードといったカテゴリー、化石燃料・電動、という技術的要素、更にメーカー・インポーター・販売会社・ユーザーという様々な立場から、コンプライアンス・インフラ整備などの事業展開をしながら、輸入モーターサイクル業界の健全なる発展と社会への定着を目指して活動を続けて行く所存です。

## JIMA 一般社団法人 日本輸入モーターサイクル協会

会 長 成 川 豊

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目15-1

TEL 03-3542-0766 FAX 03-3542-0837

URL : <http://www.jima.gr.jp>

E mail : [info@jima.gr.jp](mailto:info@jima.gr.jp)